

Looking at
Katsuhiro
Yamaguchi:
Through
his Diaries,
1945-1955

『日記』(1945-1955)に見る

山口勝弘展

2022
2.12 土 — 4.17 日

開館時間：午前9時30分—午後5時（入館は午後4時30分まで） 休館日：月曜日（3月21日を除く）

主催：神奈川県立近代美術館

観覧料：一般700円／20歳未満と学生550円／65歳以上350円／高校生100円

*中学生以下と障害者手帳等をお持ちの方（および介助者原則1名）は無料です。

*ファミリー・コミュニケーションの日（毎月第1日曜日：3月6日、4月3日）は、18歳未満のお子様連れのご家族は、割引料金（65歳以上の方を除く）でご覧いただけます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、同日の会話を楽しむ日「オープン・コミュニケーション・デー」は中止します。

*その他の割引につきましてはお問い合わせください。

*最新情報とご来館に際してのお願いは美術館ウェブサイトかお電話でご確認ください。



The Museum of
Modern Art,
Kamakura &
Hayama
神奈川県立近代美術館

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館
The Museum of Modern Art, Kamakura Annex

メディアアートの先駆者の
「実験工房」での活動と
思想の原点に触れる――



一月廿七日 火曜日 晴れ 風が冷たい
授業にある。帰り大森でササエを買ふ。
電車に乗る。窓の外には緑と黄色が混じり合
り、一か月前の車の窓ガラスに反映した「burning」の
景色はガラス窓の奥の方（即ち前方）過ぎてゆく
過ちが一度電車の窓に映ると未来（遠く）までゆく
感じを抱かせる。[左図参照]



空の情景
通り木、木影の隙に――一休詩が明日を待ち構（う）え、
花。或いは華の概念の展開。数行、見せ、パレット、ピアノ音。
低空を必然へ収束せしめる人。沈黙の空を、何れも人々を

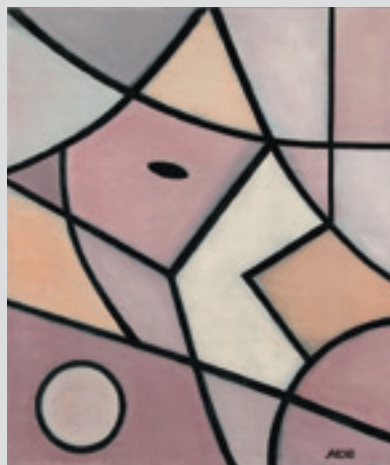
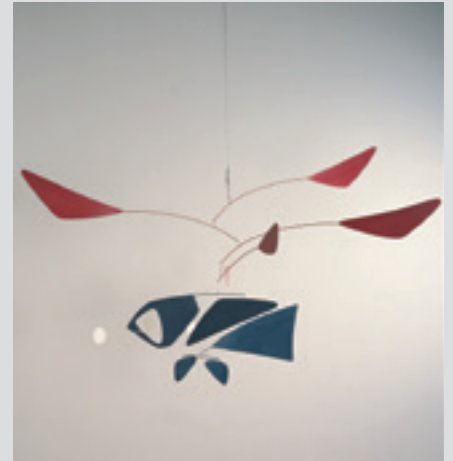
構成：山口勝弘、撮影：大辻清司（APNのための構成（1953年5月13日号））1953年
ゼラチン・シルバー・プリント 個人蔵
山口勝弘日記 1945-1955 インクほか、紙 個人蔵（撮影：齊藤さだむ）
©Estate of Katsuhiro Yamaguchi

山口勝弘展

Looking at Katsuhiro Yamaguchi: Through his Diaries, 1945-1955

戦後美術の新しい局面を切り拓いた、日本のメディアアートの先駆者である山口勝弘（1928-2018）は、戦後間もない1945年から1955年までの間に18冊の日記を残していました。そこには日々の制作、訪れた展覧会やコンサート、読書、交友関係といった記録が簡明に記されており、山口自身の創作や思索を探るうえで重要であるばかりでなく、彼が参加したグループ「実験工房」をはじめとする戦後の美術の動きを実証的に検証する上でも非常に重要なものといえます。

本展では近年、調査研究を進めてきた山口の日記から見えてくる、アメリカやヨーロッパの芸術動向の吸収、北代省三や福島秀子といった造形作家と、武満徹や鈴木博義ら若手音楽家による「実験工房」の結成、「APN（アプン）」や「オートスライド」制作などの活動の経緯を、関連作家の作品・資料とともに紹介します。また、山口の初期を代表するシリーズ〈ヴィトリヌ〉の誕生と展開に迫り、その多彩な活動の出発点を振り返ります。



1. 山口勝弘日記 1945-55年 インクほか、紙 個人蔵(撮影:齋藤さだむ) ©Estate of Katsuhiro Yamaguchi / 2. 山口勝弘〈ヴィトリヌ No.37〉1953年 油絵具、モールガラス、ガラス、合板 神奈川県立近代美術館蔵 ©Estate of Katsuhiro Yamaguchi / 3. 北代省三〈シーラカンス〉1953/1990年 鉄、真鍮、塗装 川崎市岡本太郎美術館蔵 ©Tokyo Publishing House / 4. 北代省三〈楽園喪失(回転する面による構成)〉1952-53年頃 油絵具、厚紙、合板 東京都現代美術館蔵 ©Tokyo Publishing House / 5. 福島秀子〈母子〉1948年 油絵具、カンヴァス 個人蔵 ©Kazuo Fukushima / 6. 大辻清司〈月に憑かれたビエロ〉舞台写真 1955年 35mmフィルムからのデジタルスライド上映 武蔵野美術大学美術館・図書館蔵

【新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い】

- 発熱や体調不良がある方、過去2週間以内に、新型コロナウイルス感染症陽性とされた人との濃厚接触、入国制限や入国後の観察期間が必要な国・地域への訪問歴または当該在住者との濃厚接触がある方は、ご来館をお控えください。
- 入館時に手指を消毒し、マスクを着用してください(着用が推奨されない乳幼児や障害者へはご配慮をお願いします)。
- 混雑状況により、入場制限を行う場合があります。

【鎌倉別館への交通案内】

公共交通：JR横須賀線・江ノ島電鉄「鎌倉」駅下車徒歩約15分、または東口2番のりばから江ノ電バス(大船駅・上大岡駅・本郷台駅行、約5分)で「八幡宮裏」下車徒歩2分 / JR「北鎌倉」駅より徒歩約20分、または江ノ電バス(鎌倉駅東口行、約5分)で「八幡宮裏」下車車：横浜横須賀道路、朝比奈インターチェンジから鎌倉霊園を經由して鶴岡八幡宮前へ約5km
※駐車場はございません(身障者用を除く)。身障者用駐車スペースをご利用の方は、事前にご連絡ください。

同時開催 神奈川県立近代美術館 葉山 Tel. 046-875-2800
2022年2月12日(土) - 4月3日(日) 企画展「奥谷博一無窮へ」



神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

The Museum of Modern Art, Kamakura Annex
〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-8-1 Tel.0467-22-5000
2-8-1 Yukinoshita, Kamakura, Kanagawa 248-0005
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp> @KanagawaMoMA

The Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama
神奈川県立近代美術館

